

はじめに

生活者の立場から地域社会の安全問題を考え、地域社会の安全性の向上に寄与することを目的として、1986年12月に設立された地域安全学会では、当時の研究発表会は秋季の口頭発表だけでしたが、その後、数々の自然災害をはじめとして、会員の皆様の地域社会の安全性向上に貢献する研究活動を通して、春季研究発表会および秋季の査読論文発表などを合わせて100編を超える活発な研究成果報告へとつながってきています。また、日米都市防災会議も阪神・淡路大震災10周年となる2005年1月からは、国際都市防災会議に発展し、昨年は、第3回の会議がニュージーランド・ウェリントン市で開催され、多数の研究報告が行われました。

春季研究発表会は、「東南海・南海地震に備える」をメインテーマにした2004年の和歌山県田辺市での総会時から、一般論文の口頭発表をも同時に行う形式で継続してきました。また、春季の研究発表会は過去に地震・津波や火山活動などによって被害を受けた地域において開催し、地元の皆様とともに防災・減災について考えると同時に、学会会員が被災地の復興と減災対策の状況について学ぶことも目的としています。

今回は、古く1771年の八重山地震による明和の大津波で大きな被災をされた沖縄県石垣島で開催させていただくことになりました。口頭による研究発表数は59編と昨年度、一昨年度に比較して増加傾向にあります。その一部については、文部科学省リスクコミュニケーションのモデル形成事業による研究成果として特別セッションを行います。また、公開シンポジウム「低頻度巨大災害のリスクと備え（仮）」を開催し、津波を代表事例とする低頻度巨大災害のリスクと備えについて、石垣市の防災対策のご紹介を交えながら、研究機関と地域との連携・協働の実践について学ぼうと考えています。

この春の研究発表会開催にあたり、石垣市をはじめとして、さまざまな便宜を提供して下さった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

2017年6月

一般社団法人 地域安全学会

会長 糸井川 栄一

一般論文発表

6月9日(金)

	第1セッション 会場:石垣商工会館研修室	第2セッション 会場:IT 事業支援センター	第3セッション 会場:石垣市立図書館視聴覚室
開始 時間	司会:田中聡 (常葉大学)	司会:生田英輔 (大阪市立大大学)	司会:浦川豪 (兵庫県立大学)
13:30	A-1	B-1	C-1
13:39	A-2	B-2	C-2
13:48	A-3	B-3	C-3
13:57	A-4	B-4	C-4
14:06	A-5	B-5	C-5
14:15	A-6	B-6	C-6
14:24	A-7	B-7	C-7
14:33	A-8	B-8	C-8
14:42	A-9	B-9	C-9
休憩(14:51-15:00)			
開始 時間	司会:鈴木崇伸 (東洋大学)	司会:杉安和也 (東北大学)	司会:能島暢呂 (岐阜大学)
15:00	A-10	B-10	C-10
15:09	A-11	B-11	C-11
15:18	A-12	B-12	C-12
15:27	A-13	B-13	C-13
15:36	A-14	B-14	C-14
15:45	A-15	B-15	C-15
15:54	A-16	B-16	C-16
16:03	A-17	B-17	C-17
16:12			C-18
休憩・移動(-16:40)			
文部科学省リスクコミュニケーションセッション			
コーディネーター:糸井川栄一会長(筑波大学), 立木茂雄(同志社大学) 会場:石垣商工会館研修室			
16:40	RC-1		
16:49	RC-2		
16:58	RC-3		
17:07	RC-4		
17:16	RC-5		
17:25	RC-6		
17:34	RC-7		

全体質疑 10分(17:53 終了予定) 18:00 から同会場で総会

会場配置図（第2会場、第3会場へは、第1会場から徒歩5分）



地域安全学会 梗概集 No.40

目 次

- A-1 発災後の状況認識統一の為に「被災状況マップ」公開と対象ハザード拡張の取組について (1)
グローバル・サーベイ(株) 須藤 三十三
ESRI ジャパン株式会社 濱本 両太
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 浦川 豪
- A-2 河川の水位情報をトリガーとして用いた応急対応支援システムの開発 (5)
—2015年9月常総市での河川の水位と避難情報についての検証—
(一財)消防防災科学センター研究開発部 遠藤 真
総務省消防庁消防大学校消防研究センター地震等災害研究室 土志田正二
- A-3 大規模災害の犠牲者と首都圏斎場(火葬場)の対応能力 (9)
神奈川大学経済学部 佐藤 孝治
- A-4 地方自治体における津波浸水想定と比較 (13)
東京海上日動リスクコンサルティング(株) 佐藤 遼次、林 孝幸
関東学院大学理工学部理工学科 土木学系 福谷 陽
- A-5 大震火災時における出火時刻分布を考慮した避難リスク評価 (17)
筑波大学大学院システム情報工学研究科 博士前期課程 鈴木 雄太
筑波大学システム情報系 糸井川 栄一
- A-6 大崎上島における災害遺構等を活用した高潮防災への取り組み (21)
広島商船高等専門学校 木下 恵介、小河 浩
- A-7 リアルタイム地震速報を用いた県域直接被害額の推計方法に関する研究 (25)
国立研究開発法人防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門 崔 青林
佐伯 琢磨、李 泰榮、中村 洋光、臼田 裕一郎
立命館大学 衣笠総合研究機構 崔 明姫
- A-8 水道の無効率に関連する経営指標の分析 (29)
東洋大学理工学部 鈴木 崇伸
- A-9 新潟県・粟島の津波来襲予想地域における避難困難時間の評価 (33)
大阪大学大学院工学研究科 山内 政輝、秦 吉弥
大阪大学工学部 山田 桂吾
神戸大学大学院工学研究科 鍛田 泰子
岐阜大学流域圏科学研究センター 小山 真紀
北海道大学大学院工学研究院 中嶋 唯貴

- A-10 地震に伴う港湾機能停止による経済損失額の評価 (37)
 (株)篠塚研究所 望月 智也、松本 俊明、中村 孝明
 早稲田大学 濱田 政則
- A-11 開発途上国の建築物の地震被害軽減戦略に関する基礎的研究 (41)
 <都市レベルの地震リスク軽減の日本の経験からの教訓>
 独立行政法人国際協力機構 檜府 龍雄
 独立行政法人都市再生機構 東 研司
 関西学院大学 齊藤 憲晃
- A-12 熊本地震における特別支援学校の災害対応 (43)
 徳島大学環境防災研究センター 中野 晋
 徳島大学創新教育センター 金井 順子
 香川大学工学部 野々村 敦子
 徳島大学大学院先端技術科学教育部 橋本 悠太郎
- A-13 平成 28 年熊本地震における要配慮者対応に関する調査研究(その 1) (47)
 ー福祉施設等へのアンケートを通じてー
 神戸大学大学院工学研究科 博士前期課程 濱崎 遥
 神戸大学大学院工学研究科 大西 一嘉
 神戸大学大学院工学研究科 博士前期課程 岡田 尚子
- A-14 デジタル方式とアナログ方式の特徴を考慮した災害エスノグラフィのデータベース構築 (51)
 常葉大学大学院環境防災研究科 田中 聡
 伊豆大仁開発(株) 栗山侑己
- A-15 被災地における「災害遺構」の位置づけー北海道奥尻島の事例からー (55)
 東北大学災害科学国際研究所 定池 祐季
- A-16 写真の表現による東日本大震災の記録の変遷 (59)
 3.11 キヨクのキヨク:市民が撮った 3.11 大震災記憶の記録
 東北大学災害科学国際研究所 北村 美和子
 東北大学災害科学国際研究所 村尾 修
- A-17 平成 28 年熊本地震後の住宅再建過程に関する一考察 (63)
 ー震災半年から 1 年後の西原村 5 地区を対象としてー
 名城大学大学院都市情報学研究科 柄谷 友香
 神戸大学大学院工学研究科 近藤 民代

- B-1 事業障害対策立案の起点と展開に関する一考察 (65)
 (趣)セカンドカード研究処 柳父 行二
 乃亜フレンドリネットワーク 田中 実
 江崎グリコ(株) 飯田 清人
 (株)FUN 伊藤 高信
 リスクマネジメントオフィス梅田 梅田 浩史
 パナソニックインフォメーションシステムズ(株) 佐々木 志津香
 (有)TH メディカルサービス 徳永 智子
 京セラ(株) 野原 英則
- B-2 2016年11月福島沖地震時における福島県いわき市での津波避難行動と
 以降の取り組み (67)
 東北大学災害科学国際研究所 杉安 和也、松本 行真
- B-3 地区防災マネジメントの基本的考察 (71)
 ー高知市下知地区の取組みを事例にー
 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 鍵屋 一
- B-4 東日本大震災時の東北および北関東の被災都市における帰宅困難者問
 題に関する考察 (75)
 東北大学災害科学国際研究所 寅屋敷 哲也、丸谷 浩明
- B-5 自治体防災部局における退職自衛官の在職・活用状況について (79)
 人と防災未来センター 辻岡 綾、中林 啓修、山本 晋吾
 同志社大学社会学部 立木 茂雄
- B-6 ロゲイニングを活用した災害伝承の試み (83)
 社会福祉法人 輪島市社会福祉協議会 倉本 啓之
 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 浦川 豪
- B-7 東日本大震災後の都道府県地域防災計画の改定状況と市町村地域防災
 計画改定への支援状況等について (87)
 明治大学大学院政治経済学研究科 大平 真弓、中林 一樹
- B-8 質的調査に基づく津波犠牲者発生プロセスの分析 (89)
 ー宮古市田老地区の事例ー
 常葉大学大学院環境防災研究科 重川 希志依、田中 聡、阿部 郁男
- B-9 病院施設被害を考慮した災害研修プログラムの展開方法に関する考察 (93)
 近畿日本鉄道(株) 安藤 菜々
 摂南大学理工学部建築学科 池内 淳子
- B-10 複数の側面からみた日本の地震ハザードについて (97)
 東京工業大学建築学系 翠川 三郎
- B-11 南海トラフ地震津波に直面する沿岸域の漁協を対象としたアンケート調査 (101)
 神戸市立工業高等専門学校都市工学科 宇野 宏司

- B-12 地方自治体における被害想定 の在り方について (105)
 —その2:災害対策関連法令の取扱と地方自治体の被害想定 の状況—
 東京海上日動リスクコンサルティング(株) 林 孝幸
 防衛大学校システム工学群建設環境工学科 矢代 晴実
- B-13 米軍機事故対応に関する3都県比較研究:危機管理の視点から (109)
 人と防災未来センター 中林 啓修
- B-14 「洪水カルテ」を用いた地区レベルの洪水脆弱性把握手法の適用 (111)
 国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター 栗林 大輔
 大原 美保、澤野 久弥
 三井共同建設コンサルタント(株) 近者 敦彦
- B-15 災害復興とポケモン GO (115)
 追手門学院大学経営学部 井出 明
 東北大学災害科学国際研究所 佐藤 翔輔
- B-16 事業主体から見た学童保育施設の防災対策の現状と課題 (119)
 大阪市立大学大学院生活科学研究科 生田 英輔
- B-17 地域安全学会の防災研究分野に関する研究動向の分析 (121)
 宇都宮大学地域デザイン科学部 近藤 伸也
 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 秦 康範
 国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター 大原 美保
 東京大学生産技術研究所 目黒 公郎
- C-1 単点微動計測と遺伝的アルゴリズムを用いたボーリング調査地点における
 せん断波速度構造の評価 (125)
 ～2016年熊本地震で被災した益城町を例として～
 大阪大学大学院工学研究科 秦 吉弥
- C-2 同一地域メッシュ内における高密度常時微動計測 (129)
 ～北海道苫小牧市街地を例として～
 大阪大学大学院工学研究科 大川 雄太郎、秦 吉弥、山内 政輝
 大阪大学工学部 片山 潤一
- C-3 ドローン空撮による2016年熊本地震の被害把握と3次元モデル構築 (131)
 千葉大学大学院工学研究院 山崎 文雄、劉 ウェン
 元千葉大学工学部学生 久保 佳澄
- C-4 KL展開による応答スペクトルのモード解析 (135)
 岐阜大学工学部社会基盤工学科 能島 暢呂
 岐阜大学流域圏科学研究センター 久世 益充
- C-5 E-ディフェンスのRC造建物震動実験を活用した地震時建物損傷レベル
 評価方法の提案 (137)

- 三井住友建設(株)技術本部 技術研究所 山田 哲也
 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 佐藤 栄児、土佐内 優介
- C-6 益城町における地表地震断層の極近傍の建物被害と地震動の大きさに関する検討 (141)
- (株)サイスモ・リサーチ 司 宏俊
 日本原子力発電株式会社開発計画室 田中 英朗、佐々木 哲朗
- C-7 個別要素法を用いた大破した建築物の一時的安定化対策の試み (143)
- 防衛大学校建設環境工学科 堀口 俊行、矢代 晴実
 東京都市大学 濱本 卓司
 横浜国立大学イノベーション学府 建築都市文化専攻 喜納 啓
- C-8 地域の地盤特性を反映した新しいハザードマップの作成 (145)
- (株)構造計画研究所 落合 努
 神奈川大学大学院工学研究科 井上 駿
 神奈川大学工学部 犬伏 徹志
 神奈川大学工学部 荏本 孝久
- C-9 カーネル密度推定と混合正規分布モデルによる 2011 年東北地方太平洋沖地震の走時分析 (147)
- 岐阜大学流域圏科学研究センター 久世 益充
 岐阜大学工学部社会基盤工学科 能島 暢呂
- C-10 熊本地震発生後のハイブリッドクラウド型地理空間情報プラットフォームを利用した災害対応業務遠隔支援 (151)
- 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 浦川 豪
 北九州市病院局医療センター 塩田 淳
- C-11 微動を用いた緑川PA付近の地盤モデル推定と地震動再現の試み (155)
- (株)ニュージェック 山田 雅行、羽田 浩二、藤野 義範
- C-12 琵琶湖・沖島港における臨時地震観測に基づくサイト増幅特性の評価 (157)
- 大阪大学大学院工学研究科 湊 文博、秦 吉弥、山内 政輝、荒木 進歩
 大阪大学工学部 山田 桂吾
- C-13 2016 年の福島県沖地震での津波予報と伊豆における課題の検討 (161)
- 常葉大学大学院環境防災研究科 阿部 郁男
- C-14 震災時の緊急物資輸送ルート確率論的リスク評価 (163)
- 横浜国立大学院都市イノベーション学府 喜納 啓
 防衛大学校建築環境工学科 矢代 晴実、堀口 俊行
 鹿島建設株式会社技術研究所 鳥沢 一晃
 リスク工学研究所(株) 福島 誠一郎

- C-15 リモートセンシングデータを用いたヤンゴンの建物特性の把握 (167)
 前東北大学大学院工学研究科修士課程 薄田 拓磨
 東北大学災害科学国際研究所 村尾 修
 東京大学生産技術研究所 郷右近 英臣、目黒 公郎
- C-16 火災被害認定過程の標準化に向けた課題 (171)
 ー糸魚川市大規模火災を事例としてー
 (株)インターリスク総研 堀江 啓
 新潟大学危機管理室 田村 圭子
 静岡大学情報学部 井ノ口 宗成
 防災科学技術研究所 林 春男
- C-17 大規模観光イベントにおけるゲリラ豪雨時の避難シミュレーション (175)
 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 秦 康範
 元山梨大学工学部土木環境工学科 中村 彩香
- C-18 洪水ハザードマップを活用した確率論的リスク評価手法の開発 (177)
 (株)インターリスク総研 中西 翔、久松 力人、堀江 啓
- RC-1 地震発生確率とリスク認知ー地震動予測地図の認識に関する基礎的検討 (181)
 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 齋藤 さやか、関谷 直也
- RC-2 神戸市における地域力活性化と安全・安心 (185)
 人と防災未来センター 松川 杏寧
 同志社大学社会学部 立木 茂雄
- RC-3 訓練参加者自身が発見した不測の事態を組み込んだ防災訓練 (187)
 千葉科学大学危機管理システム学科 藤本 一雄
 いわき市消防本部 吉田 賢希
- RC-4 防災意識のメタ認知刺激を意図した個人別減災カルテの開発とその効果 (191)
 愛媛大学防災情報研究センター 森 伸一郎、羽鳥 剛史
- RC-5 衣奈八幡神社秋祭からみる和歌山県由良町漁村群の集落空間の解読 (191)
 ー漁業集落の事前復興計画策定に関する研究ー
 京都大学防災研究所 金 玟淑、牧 紀男
 博報堂 佐藤 克志
- RC-6 東日本大震災における「津波による犠牲者ゼロ」の地域を対象にした探索
 的調査 (191)
 東北大学災害科学国際研究所 佐藤 翔輔、今村 文彦
- RC-7 障がい当事者向け防災リテラシー尺度の開発および当事者参画型防災訓
 練での試行 (191)
 同志社大学大学院社会学研究科 川見 文紀、房 艶旭
 同志社大学社会学部 立木 茂雄